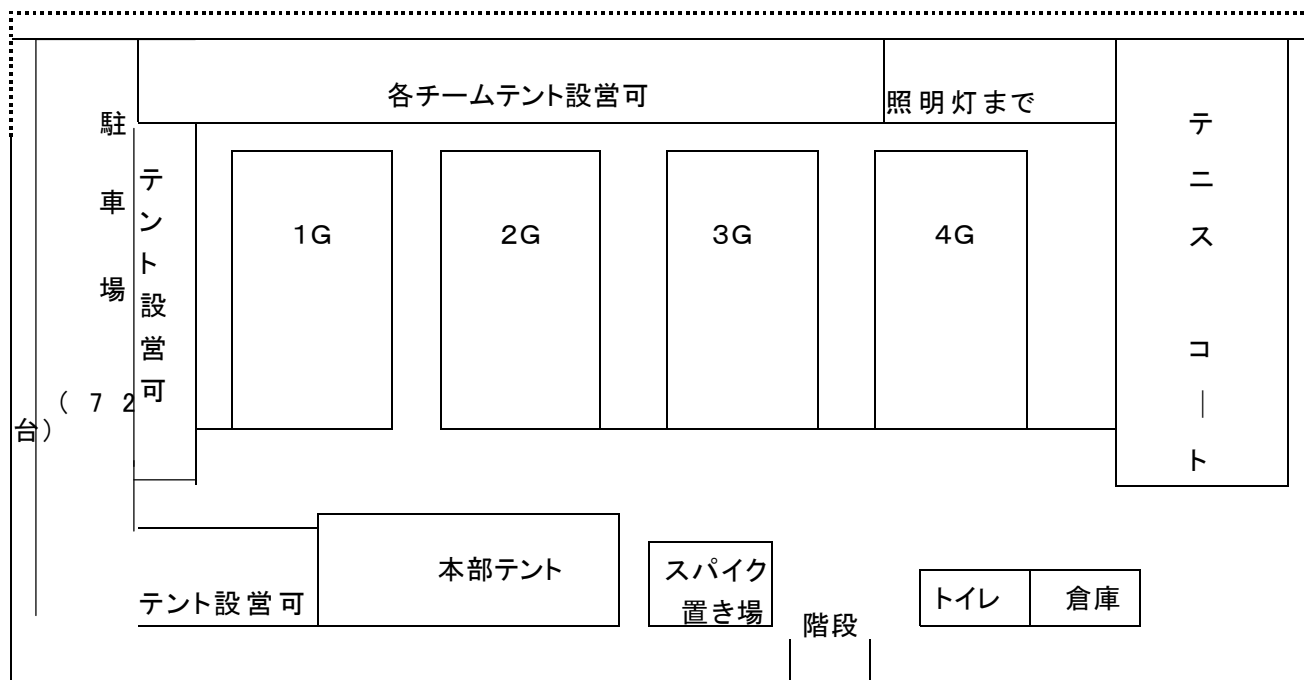


〈競技方法〉

グラウンド配置



- ①各グラウンドの間は、指導者・選手のみ立ち入り可。
- ②チーム毎のテント設営は、役員の指示に従って下さい。(練習スペースの確保のため)
- ③グラウンド内は禁煙です。(本部テント裏に喫煙所を設置します。)
- ④トイレはきれいに利用して下さい。

競技方法

1. 競技規則

○平成29年度日本ラグビーフットボール協会ミニ・ラグビー競技規則(高学年9人制)による。

2. キックオフとノーサイド

- キックオフは、試合スケジュールに従って本部の合図に従い、レフリーの笛で始める。各チーム出場選手は、キックオフ5分前には、グラウンドサイド(中央ベンチから本部寄り)に集合する。
- ノーサイドは、本部の合図に従い、レフリーの笛で終了する。ただし、トライ後のゴールキックと、ペナルティのみ継続しノーサイドはレフリー判断に委ねる。インジュアリータイムは取らない。

3. 選手の交代

- 選手の交代は、グラウンド役員に申請し、レフリーの許可を経て、登録選手の中より無条件で認める。また、交代後、負傷者が出た時には再出場を認める。但し、2チーム出場しているチームは、登録ブロックを越えての出場は認めない。
- 各試合において登録選手全員が出場すること。(怪我等特殊な理由がある場合を除く)

4. ドレスチェック

- 服装規定については現在ミニ・ラグビーのみの特別な規定は存在しない。そのため直近上位の規定を準用することとする。現行の直近上位の規定は平成29年4月1日に日本協会より通達された、【U-15 ジュニアラグビー・中学生選手服装規程】となる。
- 各チームは、同色のジャージ・ストッキング・パンツを着用する。合同チームにおいてはジャージをできる限り統一するように努める。統一できない場合は協会で準備するビブスを着用すること。(ストッキング・パンツは所属チームのもので構わない)
- アンダーウェアは、ジャージ、或いはパンツ等、着用する外側のウェアの色に合致するか、或いは黒、濃紺とする。例え同色であってもそれ以上に華美な色は禁止する。なお、白色については華美にならないことを前提に当面の間、特例として認める。
- ヘッドキャップは、IRB認定の物が望ましい。
- マウスガードの使用が望ましい。
- ・爪ノスパイク等のチェックは、チーム責任者が、試合前に実施する。

5. アシスタントレフリー

- 各チームの指導者が担当する。
- ハーフタイム時には、チームベンチに戻らずグラウンド中央でレフリーと打ち合わせを行う。

*アシスタントレフリーは、チーム指導者の立場を離れ、レフリーの補佐として試合に臨み、場外指導は厳に慎むこと。

6. セーフティーアシスタント

- セーフティーアシスタント有資格者もしくはメディカルサポーター有資格者を原則とし、試合中はビブスを付ける。ビブスはグラウンド脇の記録席で受け取り、同じく記録席に返却する。(H24年度よりメディカルサポーター制度がセーフティーアシスタント制度に移行しているための経過措置とする。)
- 水／救急用具を携帯し、自チーム・相手チームにかかわらずアクシデントに応じて速やかにグラウンド内へ入り処置を行う。
- 試合中の選手に対する給水は、ボールデッドの状態にのみ認める。

7. 天候判断

- 小雨の場合予定どおり実施する。
- 雷雨の場合及び火山性ガス発生の場合は速やかにゲームを中断し、代表者会議の判断で中止もあり得る。

8. 表彰・順位

- 勝率により決定する。勝率が同じ時には、対戦に関わらず同順位とし、ブロック毎に、1位・2位・3位を表彰する。